

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2168 号

The therapeutic potential of ex vivo-induced monocytic myeloid-derived suppressor cells from bone marrow in a mouse cardiac allotransplantation model

マウス骨髄細胞から培養した単球系骨髄由来免疫抑制細胞のマウス同種異型心臓移植モデルにおける治療的効果

藤本 啓一 (ふじもと けいいち)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、培養した骨髄由来免疫抑制細胞の免疫抑制機能を利用した臓器移植後の細胞治療において単球系骨髄由来免疫抑制細胞というサブセットの重要性を始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。これまで骨髄由来免疫抑制細胞には免疫抑制機能を有する報告やその免疫抑制機能を治療的に利用した報告があるが、骨髄由来免疫抑制細胞の細胞集団の中でもどのサブセットが免疫抑制細胞の機能の重要性や治療的成果の重要性を担うかについては骨髄由来免疫抑制細胞が誘導される環境や培養される条件によって様々であり一致していない。本研究ではサイトカインを使用して培養した骨髄抑制免疫抑制細胞を単球系と多核球系へとそれぞれ分別採取し、*vitro* 試験や *vivo* 試験を用いてそれらの機能、治療的効果を比較することで単球系の骨髄由来免疫抑制細胞が強い免疫抑制機能と治療的に重要な細胞集団であることを明らかにした。本論文は臓器移植後の治療に関して新たな免疫寛容療法の治療的可能性と発展を一助するものである。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。